

審査委員長特別賞受賞作品



川越市長賞受賞作品



個性豊かな作品が並んだ、かわごえ和スイーツコンテスト。川越をイメージさせる素材として、多く使われていたサツマイモ。ふっくらしたケーキに練りこまれたり、つやつやした麩子の表面に飾られたり、思いがけない形へ変化します。香ばしく茶色に

グランプリ受賞作品



焼きあがったケーキを切り分けると、黄色のスポンジが、新たな彩りを加えます。角切りにしたサツマイモは、透明な寒天の中で、きらきら光る寶石にも見えます。作品がテーブルに並べられると、一足早い紅葉が訪れたよう。この中から、近いうちに、お目にかかれるスイーツが出てくるかもしれませんね。



準グランプリ受賞作品

どんぐり

編集後記

オープン目前の名細市民センターを取材しました。工事は、仕上げの段階で芝張りの最中。駐車場の近くに、市の木と花である榎と山吹が植えられています。榎は、背丈が3メートルほど。年々枝を大きく伸ばし、幹も太くなるでしょう。榎の成長とともに、センターも地域ではぐくまれ、親しまれる施設になることでしょう▶和スイーツコンテストでグランプリに輝いた、「ポリフェノールたっぷり丸ごとさつまロール」。さつまいもの葉を使うのが特徴でした。川越から参加した方の作品「川越かの子」は、川越市長賞を受賞。盆の上に描かれた時の鐘や、楓の枝は、さつまいもの皮で表現されています。「無駄なく素材を使いたい」。おいしさだけでなく、食材に配慮した姿勢が印象に残りました。



マユミは、樹皮のごつごつした様子からは想像できませんが、よくしなれることから、弓の材料として用いられるとか。実は、熟すと茶巾包みをしたような形の果皮が割れ、中から朱色の種が出てきます。赤い実は、紅葉が深まっていく庭に、一層の彩りを加えてくれることでしょう。

マユミ 紅葉が始まりかけた中院(小仙波町五丁目)の庭。花だと思って拾いあげたのは、小さな赤い実でした。庭の手入れをしていた方に、マユミの実であると教えてもらいました。マユミは、樹皮のごつごつした様子から

